

# スマートホーム部会にセコム、TOTO、LIXIL等の異業種企業が参画 — スマートホーム実現に向けた業界連携を加速 —

JEITA IoT事業推進部では、2018年3月22日に第2回スマートホーム部会を開催しました。新たなプレイヤーが続々と参画し、スマートホーム実現に向け、業界連携を推進していきます。

スマートホーム部会では引き続き、宅内外のライフデータ連携により、既存ビジネスモデルの変革や社会課題の解決、魅力的なサービスを創出するスマートライフの実現のため、あらゆる産業との連携を推進します。平成30年度のスマートホーム部会は、各種政策とも連携し、以下の活動に取り組んでいきます。

### スマートホーム部会に異業種プレイヤーが続々参画

IoT事業推進部では、住宅・住宅設備機器・家電・IT通信機器・サービス等の住まいに関わるあらゆるものの連携により、安心・安全、健康、快適、便利な住まいを推進するため、業界・業種の枠を超えた「スマートホーム部会」を設置し活動を進めております。この度、株式会社LIXIL、TOTO株式会社、セコム株式会社、関西電力株式会社、PCHA（パーソナル・コネクテッド・ヘルス・アライアンス）、コネクティッドホーム アライアンスといった新たなプレイヤーがスマートホーム部会に参画しました。（3月末現在、スマートホーム部会構成16社・12団体）。

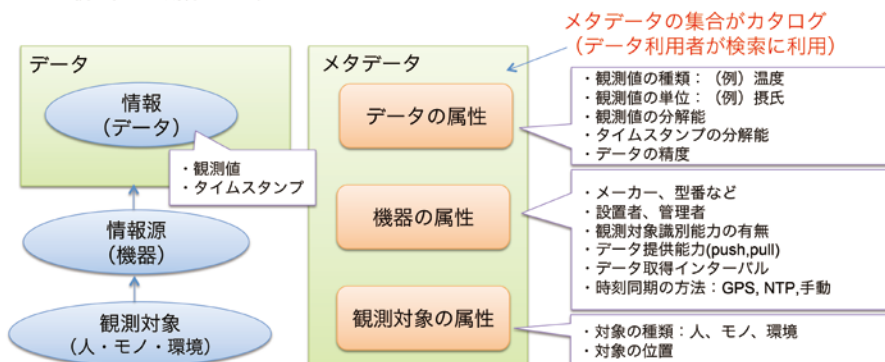


### スマートライフデータ連携に向けた取り組み

スマートホームの推進のためには、機器の相互接続に加え、機器・住宅設備・サービス提供事業者のデータ連携

### 【スマートホームデータカタログ定義】

- ・「データカタログ」とは、データそのものを一覧にしたものではなく、データの分類、略形式等を「**検索するためのメタデータ**」をデータの種類ごとにまとめたものと定義。
- ・「スマートホームデータカタログ」は**サービス提供事業者が関心のある対象（人・家・地域など）において、利用可能なデータ一覧とそのデータ属性を確認するために**利用される。
- ・「スマートホームデータカタログ」を整備することで、サービス提供事業者は適切な方法で住宅・住宅設備・機器側にデータを要求することができ、メーカーも機器データ等をサービス提供事業者適切に提供が可能になり、スマートホーム分野におけるデータ連携の促進が期待される。





が不可欠ですが、現状では、サービス提供事業者が欲しい情報と、機器が提供可能な情報にギャップがあります。スマートホーム部会では、データ連携の実現に向け、スマートホームデータカタログWGを設置し、今後のデータ連携を見据え、価値創出を行う上で重要なポイントとなりうる機器メーカー、サービス提供事業者が相互に理解できるデータカタログについて検討を行い、スマートホームデータカタログの考え方を政府に提案しました。

平成30年度は、データカタログの運用を見据え、データの検索方法、契約、実際のデータ取得手段、決済や取得後のサポート等、実運用にあたって課題となる事項を整理し、それらの課題について、あらゆる産業と連携し検討を進めていきます。

### スマートライフサイバーセキュリティ対策に向けた取り組み

2017年12月27日に発足した経済産業省産業サイバーセキュリティ研究会からの要請を受け、産業サイバーセキュリティ研究会傘下のWG1(制度・技術・標準化)において対象項目であるスマートホーム分野のセキュリティ確保に向けた検討のため、スマートホームサイバーセキュリティWGを新たに設置しました。

IoT技術の進展により、今までサイバー空間にとどまっていた攻撃対象が、人の生命や財産といった物理空間への脅威となってきています。

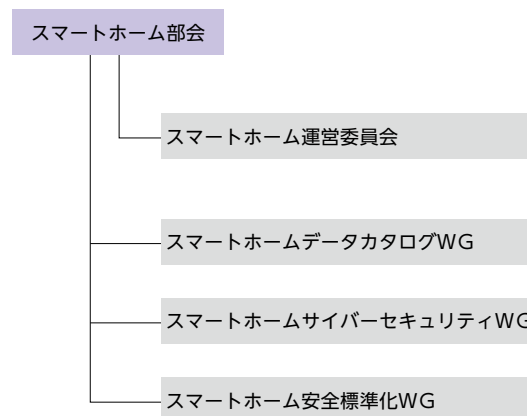
スマートホーム分野におけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策は、住まいての生命・財産を守るため、サービス事業者(ハウスメーカー)、プラットフォーム(システム・インテグレーター)、機器メーカー等の住まいに関わるあらゆる産業がスマートホームサプライチェーンを構成し、各産業の立場や範囲を理解し、信頼を創出し、協

力体制を構築することが重要です。

当WGでは、「スマートホーム産業」に求められるセキュリティ対策像を整理し、住宅・住設・家電・サービス等のスマートホームサプライチェーンで活用できる「サイバー・フィジカル・セキュリティ対策フレームワーク」を経済産業省と連携し策定を進めていきます。

また、当該「サイバー・フィジカル・セキュリティ対策フレームワーク」を概念としてだけでなく、各事業者が実際のセキュリティ対策オペレーションレベルで活用できるよう、実効的な施策についても検討を進めていきます。

### 【スマートホーム部会組織図】



その他にも、IoT住宅設備連携における機能安全に関する国際標準策定に向け、電子・電機業界の立場からIoT住宅の安全標準化に向けた活動を行うとともに、スマートホーム普及に向けた活動を推進してまいります。

スマートホーム実現に向けては、住まいに関連する業界全体としての活動が不可欠です。

引き続き、皆様からのスマートホーム部会活動へのご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。